

3月定例会総括質疑

3月定例会における総括質疑の一部を掲載します。

総括質疑

草地更新

問 町営牧野の草地更新について、今後、町としてどのような施策対応を考えていますか。

答 町営牧野の草地更新については、平成16年度より行っておりませんが、水上、上徳、美和の3牧場がありまして、全てを合わせると非常に大きな面積でありますので、一括して行うということにはならないと思っております。

問 将来の入牧頭数や補助制度など、農協や振興局等と十分協議して行っていくかと思っております。

観光振興対策

問 観光の入込人数が減少しておりますが、インフォメーションセンターの改修で観光振興対策が講じられるのでしょうか。

答 原生花園の観光入込人数がかなり落ち込んでいますが、飛行機機材の縮小により、台湾からのチャーター便が直接女満別空港まで来れなくなること、網走に道の駅ができたことにより、原生花園や小清水に立ち寄りやすくなっております。今後とも、他の町とも連携しながら入り込み増に向けて検討していきたいと考えています。

光ファイバー通信

問 家庭用光ファイバーについて、今後どのような活用を図っていくかと考えていますか。

答

今回、国の補助制度により光ケーブルの設置を行っており、活用には規制がありますが、将来的には規制緩和になるかと思っております。高齢者の見守りや住民の健康管理といったことにも、光ケーブルを活用していかなければならないと考えています。

行政対応

問 変化し続ける住民ニーズに対応する行政対応が求められていると思っておりますが、どのように考えていますか。

答 職員の教育ということが何よりも大事なことだと思っております。住民の皆さん方に納得していただくような指導方法について、今後研修等を重ねていきたいと思っております。

小学校再編後の活用

問 小学校再編後の跡地、校舎住宅等について、分散型のデイスタービスセンターや企業誘致、定住促進等に活用を図っていくべきではないかと考えますが、どのように考えていますか。

答 デイスタービスでの利用、農畜産物加工のための企業誘致といったことも含めて、今後検討していきたいと思っておりますが、現実的に難しいことも多々あると思っております。職員住宅の活用については、定住促進ということも含めて考えております。

商工業の経営安定

問 町政執行方針において、「中小企業特別融資事業の拡充検討」とありますが、各資金（運転資金、設備資金、近代化資金）の限度額を引き上げることですか。

答

各資金の限度額は条例で定めておりますが、今の資金枠で良いのかどうか、どの程度の方から要望があるのか、今後商工会や金融機関と協議して拡大についても検討していきたいと思っております。

人づくり

問 「町づくりは人づくり」と考えますが、どのように考えていますか。

答 私も町づくりは人づくり、全くそのとおりだと思っております。人づくりをしつかりしなければこれからの小清水町の町づくりにはならないと思っております。教育環境の整備もその一つという考えの中から、小学校、中学校の改築についても積極的に取り組ませていただきたいと思います。

農業被害の防止策

問 エゾシカによる農業被害防止策として全町にシカ柵を巡らせていますが、老朽化しており改修が必要な状況です。猟友会による駆除対策にかかる経費の助成も含めてどのように考えていますか。

答 シカ柵は設置して10年を超えております。土地連に全町にわたって調査を依頼したところ、老朽化などにより改修の必要なところもあるということですので、今後農協とも協議していきたいと思っております。

猟友会にエゾシカの駆除をお願いしておりますが、23年度予算につきましては、助成金額を引き上げ、1頭1万円、150頭分を予算措置しております。今後は狩猟免許の取得にかかる助成なども検討していきたいと思っております。

農業振興

問 小清水町で採れた産物を活用して他市町村等に広めることにより、農業を守り、町の活性化になると考えますが。

答 小清水町の基幹産業は農業ですので、農業を守ることが大事だと思っております。小清水で生産された農業の産品に付加価値をつけ、多くの町民の皆さんに食べていただき、町外からもたくさんの方にきていただきたいと思っております。はなやか小清水を一つの窓口として研究を行っておりますが、実を結ぶということとは簡単ではないと思っております。時間をかけてじっくり行っていくべきものだと思います。

特別教育支援の充実

問 臨時特別支援教育支援員の効果はどのくらいあったのですか。

答 特別教育支援の充実のため、平成22年度より小学校、中学校1名ずつ配置しております。小学校で3学級、中学校は2学級となっております。父兄、学校からも支援員の配置については非常に効果があるということで、新年度も要望をいただいております。引き続き、特別学級を設置し支援員を配置する予定です。

地域活性化事業

問 耐震計画と関連して、高齢化や経済的に自力処理できない古い建物の処理方法を早急に打ち立てていかなければならないと思っております。

答

平成22年度から経済対策による地域活性化事業において住宅に限っては30万円を限度に行っております。こういったことを活用して取り壊しをしていただければと思っております。

農業後継者対策

問 担い手対策事業と農業後継者対策の取り組みの仕方について、議論していく必要があるかと思っておりますが、どのように考えていますか。

答 後継者対策協議会で取り組みを行っており、具体的には町外女性との交流会などを開催しておりますが、今後も続けてそういった機会を設けていきたいと考えています。

質問は要約されています

議会だよりでは、質問・答弁の内容を要約して掲載しております。質問・答弁の全文については紙面の都合により載せることが出来ませんが、詳しくお知りになりたい方は、小清水町議会事務局へお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

小清水町議会事務局 ☎(62)4477(直通)

会議録を閲覧することができます

図書館において町議会本会議内容がすべて記載されている会議録を閲覧することができます。会議録の完成には、当該議会終了後、数ヶ月程度の時間がかかります。また、議会だよりは、ホームページでもご覧になれます。

<http://www.dosanko.co.jp/kosimizu/gikai/index.html>